

第120回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

当座預金	受取手形	売掛金	売買目的有価証券
他店商品券	未収入金	立替金	前払金
仮払金	備品	支払手形	買掛金
商品券	未払金	預り金	前受金
仮受金	貸倒引当金	備品減価償却累計額	売上
雑益	固定資産売却益	償却債権取立益	仕入
手形売却損	貸倒損失	雑損	固定資産売却損

1. 日根野商店から商品 ¥ 100,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 80,000 は、かねて受け取っていた七里商店振り出しの約束手形を裏書譲渡し、残額は掛けとした。
2. 商品 ¥ 100,000 を売り渡し、代金のうち ¥ 60,000 は、当店と連盟している下間商店の商品券で受け取り、残額は当店発行の商品券で受け取った。
3. 期首に備品（取得原価 ¥ 400,000、減価償却累計額 ¥ 250,000、間接法で記帳）を ¥ 120,000 で売却し、代金は後日受け取ることにした。
4. 本願寺商店に対して商品 ¥ 50,000 を注文し、手付金として ¥ 20,000 の小切手を振り出して渡した。
5. 得意先が倒産し、前期から繰り越された売掛金 ¥ 100,000 が回収できなくなったので、貸倒れの処理を行う。なお、貸倒引当金の残高は ¥ 80,000 である。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕入	100,000	受取手形	80,000
			買掛金	20,000
2	他店商品券	60,000	売上	100,000
	商品券	40,000		
3	備品減価償却累計額	250,000	備品	400,000
	未収入金	120,000		
	固定資産売却損	30,000		
4	前払金	20,000	当座預金	20,000
5	貸倒引当金	80,000	売掛金	100,000
	貸倒損失	20,000		